

# HO YOG

## 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸 (078) 341-5949(代)  
〔編集〕教区基推委広報部

1998.11.119号



講演中の高橋事久師

## 「蓮如上人と現代」説く

### 56回の第一土曜仏教講座

第一土曜仏教講座は、神戸別院本堂に於いて、毎月第一土曜日の午後一時三十分から開かれ、平成五年八月開催以来、先月十月で既に五十六回を数えます。

又、内容も真宗教義にとらわれず、いろんな分野の著名な方、例えば、医師や香の専門家、環境という観点からは理工学部教授方も講師に迎え、カルチャー講座的形式を基に進められています。講座内容によって、組や寺の教化団体からの団体参拝もあります。

自分には苦しくて、悲しくて、絶体絶命のどん底に落ちてどうすればいいかわからない、頑張れという言葉も空しく響くだけという状況がある。その呻きの中、仏様が「誰もが前を見捨てて、私だけはお前を見捨てないぞ」と、私を抱きかかえてくださる世界。それが悲の世界である。悲しみの心に強く打つものであった。下さる世界。救いの世界。それが上人のご教化であり、激動と乱世に生きる人々の心を強く打つものであった。



私は、昭和17年の生まれで現在56歳である  
◆子供の頃は、おやつといえは砂糖キビを20cm位に切ったのをもらったり、竹の皮に包んだシンの葉であたり、つるし柿などは上の上であった◆学校に行くのには学生服の袖は青鼻でピカピカに光り、女子はDDTを頭にかけて日本手拭いを冠り通ったものである◆風呂にしても隣近所が話し合って入り合いをしたものである。姑が先に入り、嫁が「おかげん如何」と声をかける。今日では及びもつかぬことであるがコミュニケーションは充分とれていた◆庭に干してあるフトンは、夕暮れになると隣の人が取り入れてくれることもあり、鍵などはほとんど掛けることなどなかった◆報恩講の季節になると子供達は大声で「参って来てネ」と家々を廻る。お勤めをしてお菓子(アラレとか、おかきとか)をもらって次の家にと本当に楽しいものであった◆あの生き生きとした念仏の声がなつかしく思い出されてしかたがない今日この頃である。(多田満之)

また、内容も真宗教義にとらわれず、いろんな分野の著名な方、例えば、医師や香の専門家、環境という観点からは理工学部教授方も講師に迎え、カルチャー講座的形式を基に進められています。講座内容によって、組や寺の教化団体からの団体参拝もあります。

教区だより		10・11月	
15日(木)~16日(金)	別院常例法座	谷川弘顯師	1時半
17日(土)	仏社常任理事会・理事会		10時半
20日(火)	災害対策常任委員会		2時
21日(水)	仏婦常任委員会		10時半
22日(木)	寺婦常任委員会		10時半
24日(土)~25日(日)	近畿ブロック仏青研修会		別院
27日(火)	愛生園真宗同朋会40周年記念行事 門推幹事会	長島愛生園	10時半
29日(木)	第5回広報部会		2時
	布教団若手役員会		2時
11月1日(日)	仏社岡山ブロック研修会		岡山南組光清寺
4日(水)~13日(金)	蓮如上人500回遠忌法要(第10期)		本山
7日(土)	第一土曜仏教講座	古結芳子師	1時半
第2回スカウトの集い			7時
10日(火)	第11回若婦人の集い		12時半
13日(金)	蓮如上人500回遠忌法要(ご満座) 法要終了後「ご消息発布式」		本山
15日(日)~16日(月)	別院常例法座	堀 孝文師	1時半

## ご法中の出勤を

### 27日から別院報恩講

神戸別院恒例の報恩講法要が、十一月二十七日(金)〔二十九日(日)の三日間〕勤修される。講師は、元基幹運動本部事務局長の田中郁朗師(福岡教区西嘉穂組明信寺住職)で、昨年の門推結成十周年記念大会にも記念法話をいただき好評だった。期間中の日中・速夜法要

## 久堀師の法話掲載

### 平成11年版「ダーナ手帳」

毎年、教区仏婦連盟(木村久子委員長)では、仏婦会員へのダーナ活動推進、および主旨広報と活動の実践記録としての活用を願って「ダーナ手帳」を発行しています。毎月の見開きのページには、月ごとに法話とカレンダーをまた「私のダーナ活動」として各組の委員を中心にダーナ活動事例の紹介もしています。

## 敬弔

多数のご参詣をお待ちしています。日程は次の通り。  
27日午後1時半 速夜法要  
午後6時 御伝鈔拜読  
28日午前7時 晨朝法要  
午前10時 日中法要  
午後1時半 御俗姓拜読  
大速夜法要  
午後6時 御伝鈔拜読  
初夜法要  
29日午前7時 晨朝法要  
午前10時 日中法要  
(毎座法要後ご法話)

## 青僧会

### 集まりませんか

青僧会では、今年度後半と来年度一年を通して、計六回の連続研修会の開催を計画しています。「いのち・生命・無量寿」というテーマで、宗門が抱える問題を通じて、様々な角度から「いのち」について問い学んでいきたいと思えます。「キリスト教・自然科学と仏教のいのちのちのちえ方」はどういう違いがあるのか? 「いのち」は尊いというが本当に尊いならば、何を尊いといえるのだろうか? など、漠然としている「いのち」の問題の輪郭を探っていきたいと思えます。

東井富美代さん(とうい・ふみよ) 出石組東光寺前坊守 九月十八日、八十一歳で往生。葬儀は九月十九日、東光寺で。「法音院釋尼富美」。

藤本初枝さん(ふじもと・はつえ) 淡路組万寶寺前坊守 九月二十四日、八十七歳で往生。葬儀は九月二十六日、万寶寺で。「香教院釋尼妙珠」。

# 上半期の活動活発

## 寺婦・総代・仏壮・仏婦から

今年度、上半期の各教化団体の研修会の開催についてそれぞれの代表者からご報告いただきました。

### ◆寺婦連盟

九月七日、平成十年度の研修会を開催いたしました。今年度は蓮如上人五百回遠忌法要の年であり、蓮如上人のみ教えを旨として研修させていただきますと思ひ役員の皆様と一緒にすすめてまいりました。

開会式では、重誓偈作法による音楽法要を初めて勤めさせていただきました。

◆講義は、元中央仏教学院長の三宮義信先生(滋賀教区滋賀組正源寺)に研修テーマ「御同朋の社会をめざして」蓮如上人の教えに学ぶ」と題してご講話いただきました。午前中は、蓮如上人のみ教え、正信偈開版、ご和讃、ご文章、平生業成、真宗の要と多くのご教化をいただき、午後は見玉尼を通してのお話をいただき、無疑心でお聴聞しお念仏に生かさせていただくように……お寺があやふやではないけない、方向性ははっきりするようにとお諭しいただきました。



コーラスの皆さん

### ◆門徒総代会

兵庫教区門徒総代会研修会が八月二十七日、神戸別院研修ホールで開催されました。本年は、従来のブロック別研修会に変わって別院での開催となりました。受付開始の十時には、すでに大半の方が出席され、四七一名の門徒総代会の参加にご職務方の参加もいただき研修ホールは満堂の盛会となりました。

(寺婦連盟委員長 本田美喜恵)

十時三十分からの開会式は、重誓偈のお勤めに始まり、高橋廣爾教務所長、多田実会長の挨拶があり、十一時から元基幹運動本部事務室長の藤田徹文師(備後教区御調西組光徳寺)を講師に「お寺と住職と門徒の関わり、最近の状況から」と題して、浄土真宗のお寺の成り立ち、住職と門徒の関わり等についてお話しいただきました。午後は「総代が念仏者となるために」と題し、引き続いて藤田師から、まずは聴聞にきわまる等、念仏者としての心得

の講話でした。その後質疑応答、閉会式を行って十五時十分頃散会しました。藤田師は「門徒総代世話人教本」を出版されていますが、門徒総代は何をなすべきかと示唆いただきました。総代とは何か。如何にあるべきか。名ばかりの門徒、形ばかりの僧侶ではないだろうか。寺と門徒の関係はただの形式的、習慣的儀礼のみつながりになってはいないか?今こそ総代一人ひとりが変革し、門徒総代会の体質充実に努力すべきではないだろうかと強く感じさせられた研修会でありました。

(門徒総代会副会長 中西正一)

### ◆仏壮連盟

兵庫教区仏壮連盟ブロック研修会を六月二十八日東播をはじめに、教区内五ブロックにわたり総勢九八五名の参加者を得、研修テーマ「御同朋の社会をめざして」、研修読本「教団と運動」と題して各ブロック毎にご講師をお招きし、お話しくださいました。また、分科会、全体会を開き質疑応答をし、盛会に研修会を終了することができました。

ことに質疑応答の中には今、浄土真宗に何を問われ

ているか、宗門として取り組まなければならない問題点、仏壮の組織拡充の問題、教務所の指導性等、多方面にわたった意見に対して回答がありました。

この研修会を通して私の感じたことは、宗祖親鸞聖人がお示しくださいました真実のみ教えを後世にいかにか伝えていくか、また蓮如上人五百回遠忌以後のわが宗門の行方がどうなっているのか、会員交流の中で危惧の念を抱く者が相当いるということでした。そして現在の宗門体制のあり方を改革する必要があることについて多くの意見を耳にしたことでもあります。

会員交流の中でいろいろな意見や考え方が聞かれることは、すべて真実のみ教えを後世に伝えていかなければならないという一念からであろうと思います。その中において基幹運動の中心にある仏壮の役割と会員一人ひとりが、今何をしどう活動していかねばならないかを痛感したことです。組織拡充も大事なことです。が、もっと大事なことが忘れられているのではないのでしょうか。

(仏壮連盟理事長 出田 求)

(仏婦連盟委員長 木村久子)

# 興正派からも団参

## HO日誌

◆9月1日災害対策常任被災組組長合同会議を別院で◆寺族青年野球大会が滋賀・守山球場で。教区からBANチーム(窪田憲龍代表)が出場。一勝一敗◆2日◆岐阜教区中川南組より別院に団体参拝◆4日◆教務所長会が本山で◆青僧会会員交流会がグリーンピア三木で。会員32名がバーベキューを囲み懇親◆寺婦研修会の準備に本田委員長ら役員が別院で◆5日◆第一土曜仏教講座。講師は野村康治師(大阪教育福祉専門学校講師・ビハーラこのみ園施設長)。講義は「リスボン宣言に学ぶー生・老・病・死の現実を通して」◆7日◆寺婦研修会を別院で◆別院仏婦定例法座。講師は増井浄見師(赤穂北組浄蓮寺)◆8日◆社推協研修会を別院で。終了後、市内鈴江で懇親会◆9日◆組長ブロック長会を別院で◆10日◆広報部会を別院で教区新報の編集◆職員会。終了後、職員歓迎会◆11日◆

連研履修者研修会を別院で講師は小島照行師(備後教区御調西組法泉寺)。25名が受講。スタッフに連研推進委員会委員、中央実習修了者、門推が当り、三班に別れ、法座を中心に研修。「あらためて、連続して研修を続けることの大切さをあじわいました」と受講者の声◆ビハーラ兵庫役員会を別院で◆第三ブロック布教団担当者が奈良教区教務所で。安井担当者が出席◆真宗興正派大和教区仏教婦人連合会より別院に団体参拝◆12日◆13日◆仏青研修会を別院で。講師は別所法宣師(神戸湊組教覺寺)26名が参加し、一日目は講義と話し合い、二日目は兵庫区・水の科学博物館を見学。研修と親睦を深める。仏青連盟(林真委員長)では10月24日〜25日に別院で開催される近畿ブロック仏青研修会の参加を呼びかけている◆15日◆16日◆別院常例法座。講師は堀川宣裕師(城崎組本尊寺)◆16日◆仏婦単位会会長研修会を別院で。講演に久堀弘義師(神戸湊組行願寺)が「御

同朋の社会をめざしてー歴史と伝統」と題し午前と午後の二回にわたって話された。仏教讃歌を阪神北組コーラス「ほほえみ」(岩田茂子代表)が「いのちかがやいて」「ひらいたひらいた」などを披露、六百名の参加者は有意義な一日を送った◆18日◆全戦没者追悼法要が東京の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で。高橋所長が法要に出動◆19日◆蓮如上人五百回遠忌法要に多可組が団参◆睦学園(河野申之理事長)関係物故者追悼法要が須磨ノ浦女子高等学校で。高橋所長が臨席◆20日◆仏壮姫路・西播ブロック研修会が龍野市総合文化ホールで。講師は久堀弘義師(神戸湊組行願寺)◆山陰教区温泉津組・大家組より別院に団体参拝◆21日◆蓮如上人五百回遠忌法要に岡山南組が団参◆福井教区一乗組より別院に団体参拝◆22日◆蓮如上人五百回遠忌法要に赤穂南組が団参◆22日◆24日◆別院彼岸会。講師は赤松弘淳師(滋賀教区蒲生下組明光寺)◆23日◆第3回全国門徒推進員の集

いが本山で。教区から一三名が参加。◆蓮如上人五百回遠忌法要に掛龍西組、赤穂北組、出石組が団参◆本願寺築地別院より別院に団体参拝◆安芸教区東広島組より別院に団体参拝◆24日◆蓮如上人五百回遠忌法要に網干組、新宮組、多可組が団参◆山口教区山口南組信光寺より別院に団体参拝◆25日◆蓮如上人五百回遠忌法要に姫路東組が団参◆本願寺山口別院より別院に団体参拝◆26日◆27日◆第5回ビハーラ活動全国集會が本山で。教区から11名が参加◆27日◆仏壮丹波・但馬ブロック研修会が正福寺(水上西組)で。講師は森本光慈師(水上西組正福寺)◆蓮如上人五百回遠忌法要に阪神西組が団参◆大阪教区大阪西組正福寺より別院に団体参拝◆28日◆青陵会より別院に団体参拝◆29日◆奈良教区門徒総代会連盟より別院に団体参拝。



団体参拝に輪番案内

## ビハーラ 公開講座

広く社会の中でのいのちを見つめる

### 医療現場とビハーラの接点

平成10年12月10日(木) 15:00~  
講師 黒田信稔さん  
一僧侶と医師・二足のわらじでー

赤穂郡上郡町に黒田内科クリニックを開業。僧侶、院長、ビハーラ賛助会員である黒田信稔さん。以前にも「医療の立場からビハーラ活動に望むこと」と題して講演いただいた。ビハーラ活動も歩み始めて十年、遠忌法要に併せて全国集會が開催されたが、「在宅ケア」など今後の活動のあり方を探っていきたい。

### 自分らしく死ぬためにー地域社会の再生を求めて

平成11年2月13日(土) 13:30~  
講師 神代尚芳さん  
ーコミュニティ・ネットワークの重要性を語る医師ー

医療と仏教、さらに「その人らしい死を」と在宅での看取りに積極的に取り組む、死の社会化に努める神戸市の荻原みさき病院副院長の神代尚芳さんは、若い、死に深く関わる中で福祉にも関心をもち、最近ではコミュニティ・ネットワーク協会の設立。著書に「サイコオンコロジー入門」他論文多数。仏教に深く関わり、ビハーラへの提言が期待できそう。

いずれも会場は、神戸別院で開催いたします。参加費は不要です。皆様のご参加をお待ちいたします。